

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先													備考		
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他		大学名	
1	市長公室	広報課	大学と連携した広報活動	大学と連携した情報発信方法の検討	平成30年度	SNSを用いた情報発信における学生との意見交換、ドローンを活用した動画制作。	大学生の柔軟な発想による意見交換を行い、若い世代をはじめとした行政に馴染みのない方に対する効果的な広報につなげた。 市花火大会(岩槻文化公園会場)において、ドローンを活用した動画制作した。	https://www.city.saitama.jp/006/014/014/002/068967.html	各区での情報発信をより強化するため、大学教授から広報職員を対象としたセミナー開催するなど、より一層連携を強化していく予定。												○				
2	都市戦略本部	都市経営戦略部	SDGsの推進	企業・団体・大学等のステークホルダーと連携し、SDGsに係る普及啓発活動を実施する。	令和元年度	芝浦工業大学主催の第1回次世代SDGsフォーラム(令和元年12月21日)のイベントブースにおいて、さいたま市SDGs未来都市の取組を紹介した。また、市長がパネルディスカッションに登壇した。	これからの国際社会の主役となる大学生に対し、さいたま市SDGs未来都市の取組の啓発を行うことができた。	https://www.city.saitama.jp/007/002/018/index.html	引き続き、企業・団体・大学等のステークホルダーと連携し、SDGsに係る普及啓発活動を実施する予定。										○						
3	都市戦略本部	行財政改革推進部	学生政策提案フォーラムinさいたま	市と大学コンソーシアムさいたまの共催事業として、大学コンソーシアムさいたま加盟大学の学生が、市長に政策を提案する。	平成23年度	さいたま市は東京オリンピック2020のサッカー、バスケットボールの開催会場となっているが、東京2020大会で来訪する観客等に本市の魅力を感じてもらいたい、東京2020大会をきっかけに本市をよりよいまちにしたい、といった想いを具現化するため「2020年東京大会に向けたおもてなし」をテーマに5大学8グループの学生がプレゼンテーション形式で発表を行った。	学生からの提案を各事業実施の際の参考とし、提案内容を本市観光パンフレットに反映した。	https://www.city.saitama.jp/006/007/002/012/003/index.html	継続して実施していく予定。 学生からの提案を計画の策定や事業を実施する際の参考として活用し、施策への反映を検討する。		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	都市戦略本部	行財政改革推進部	大学による地域の課題解決・活性化支援事業	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の知や活力による地域の活性化や課題解決につながる事業を支援することにより、大学の実践的な教育・研究機会の確保、人材育成等を図るとともに、地域の活性化等を図ることを目的とする。	平成27年度	3大学・7件の申請があり、6件を交付決定した。	大学の実践的な教育・研究機会の確保、人材育成等を図るとともに、地域の活性化等を図ることができた。		引き続き、大学の知や活力による地域の活性化や課題解決につながる事業を支援していく。		○														

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先													備考						
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他		大学名					
8	総務局	防災課	避難所運営訓練	災害対策基本法に基づく本市の指定避難所に指定されている施設において、災害が発生した場合の避難所の円滑な開設及び運営を図ることなどを目的とした訓練を実施する。	令和元年度	各区役所総務課の主催のもと、各施設において避難所運営訓練を実施した。 <実施状況> 埼玉大学：11/16 埼玉大学教育学部附属小学校：12/1 埼玉大学教育学部附属中学校：11/9	自治会、施設管理者、市職員などで構成される避難所運営委員会を中心として、災害時における避難所の開設・運営を想定した訓練や、施設利用協議などの活動を行うことで、地域コミュニティの連携強化や防災意識の醸成など、地域防災力の充実強化を図ることができた。		いかなる状況下でも円滑に避難所の開設運営を行うためには、防災訓練を継続的に実施することが重要であるため、各避難所で明らかとなった課題を踏まえ、訓練内容の見直しや拡充などの改善を図りながら、今後も継続的に訓練を実施する予定。	○																			
9	市民局・市民生活部	人権政策・男女共同参画課	女性のチャレンジ支援事業	工学女子を育てよう！プロジェクト	平成29年度	令和元年8月20日に女子小中学生を対象として、大学生によるロボットプログラミング教室を実施した。(参加者数7名)	女子小中学生に工学系分野の魅力を伝えることができ、また、女子大学生が指導を担当することで身近なロールモデルを示す機会となった。	https://www.city.saitama.jp/006/010/002/003/p068703.html	継続して実施する予定。																				
10	市民局・市民生活部	人権政策・男女共同参画課	デートDV防止啓発事業	デートDV防止出前講座	平成23年度	平成31年4月1日及び16日に出前講座を実施した。(参加者数1,065名)	学生のデートDV防止への理解が深まった。		継続して実施する予定。	○																			
11	スポーツ文化局	スポーツ振興課	高齢者健康スポーツ教室	市内在住の、普段運動をしていない65歳以上の男女を対象に、筋力トレーニングやステップ運動等を行い、参加者の体力向上、コミュニケーションの促進等を行うとともに、体力測定やアンケート調査等から得られるデータの分析を行うことにより、「スポーツのまちさいたま」の実現を図る資料とする。	平成26年度	高齢者健康スポーツ教室の開催 講師 芝浦工業大学 工学部 准教授 期間 令和元年5月～11月 9:00～10:30 人数 週1回コース25人 週2回コース 25人 教室回数 週1回コース 全25回 週2回コース 全50回	大学、行政がそれぞれ提供可能な資源・財産等を活用することにより、効率的・効果的なスポーツ振興を図ることができた。		事業の継続を行う予定。																				

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期 (年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先																備考		
										埼玉大 学	埼玉県 立大 学	浦和 大 学	共栄 大 学	慶應 義 塾大 学	芝浦工 業大 学	聖学院 大 学	日本大 学	人間総合 科学 大 学	放送大 学	目白大 学	国際学院 埼玉短期 大 学	その他	大学名					
12	スポーツ文化局	スポーツ政策室	女子サッカー等活性化事業(スポーツシュール事業)	ネットワーク型のスポーツシュールの仕組みを活用し、サッカーを行う女子中学生の活動の場所を確保するとともに、競技技術の向上、栄養管理等を行う事業を展開することで、女子アスリートの健全育成に資する取組を行う。	令和元年度	中学生年代女子サッカー合同練習会「スマイルプロジェクト」(計10回実施：3月確定)を開催する中で、埼玉大学グラウンドを活用しての練習会を実施(R2.1.12開催)。	大学のグラウンド空き施設を活用し、スポーツ活動場所を確保することができた。	https://www.citv.saitama.jp/004/006/008/p068302.html	引き続きスポーツシュールのネットワーク先の1つとして、大学スポーツ施設を活用した取組について検討していく予定。	○																		
13	スポーツ文化局	スポーツ政策室 高校教育課 浦和南高校	スポーツシュール事業	・浦和南高校サッカー部・バスケ部において実証実験を行うもの。 ・運動部の生徒が部活動を行うことによって、分析力が身につくこと等、将来にどのような影響があるかを可視化し、卒業後の進路選択の一助とする。 ・部活動への取り組み姿勢やコンピテンシー(能力)を計測するための調査・アンケートを実施する。早稲田大学舟橋准教授が調査設計を監修。 ・生徒自身が試合や練習の映像をみて、プレーや戦術について「言語化」「課題発見」を行うためのツール「SPLYZA Team」を体験。自ら「考える力」を身に着けるためのサポートを行う(3ヶ月～6ヶ月実施)	平成30年度	浦和南高校女子バスケットボール部・男子サッカー部において、アプリによる試合分析を実施。 全生徒にアプリによる気質とコンピテンシー評価・分析を実施。	NTTデータ経営研究所、(株)ウフル、IGS株式会社、早稲田大学スポーツ学術院との産学官連携による実証により、浦和南高校の全生徒に最新のICT技術を楽しむ効果があつた。		女子バスケットボール部、男子サッカー部においては引き続きアプリによる試合動画分析を実施予定。動画分析実施前と後で分析力などの数値が上がったか検証予定。														○	早稲田大学				
14	スポーツ文化局	国際芸術祭開催準備室	さいたま国際芸術祭開催事業	さいたま市文化芸術都市創造計画の重点プロジェクトである、「さいたま国際芸術祭2020」を開催するため、各種プロジェクトの準備及び広報活動を行う。	平成29年度	実行委員会構成員である、大学コンソーシアムさいたまの幹事校の目白大学へ芸術祭の各種プロジェクト情報を他の加盟校へ発信してもらった。	市民サポーターの登録人数の増加や卒業研究に取り上げていただくなど、大学生の芸術祭への興味関心の向上に寄与した。		連携を継続し、積極的な情報発信を行う予定。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先															備考
										埼玉大	埼玉県立大	浦和大	共栄大	慶應義塾大	芝浦工業大	聖学院大	日本大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院埼玉短期大	その他	大学名		
15	スポーツ文化局	スポーツイベント課	さいたま国際マラソン開催事業	さいたま国際マラソンにおけるボランティア協力	平成27年度	大会をサポートするボランティアに学生が参加。	学生の参加によりランナーへのおもてなし、大会の盛り上がりにつながったほか、学生のスポーツボランティア参加の契機、国際大会の経験の場となった。		令和2年度は大会の開催を見送ることとなったため、令和3年度以降に大会を開催することとなった際は改めて協力を依頼する可能性がある。																文教大、日本医療科学大、女子栄養大、帝京大、平成大、杏林大
16	スポーツ文化局	スポーツイベント課	さいたま国際マラソン開催事業	さいたま国際マラソンにおけるランナーケア	平成29年度	会場内のブースにおいてランナーのストレッチ等を実施。	参加ランナーへのおもてなしに繋がるほか、学生によるアシリートケアの経験の場となった。		令和2年度は大会の開催を見送ることとなったため、令和3年度以降に大会を開催することとなった際は改めて協力を依頼する可能性がある。																
17	スポーツ文化局	大宮盆栽美術館	夏季集中講座「地域と芸術文化―盆栽文化を学ぶ―」	大学の夏季集中講座として、学生及び一般の方を対象とした盆栽文化を学ぶ授業を実施	平成26年度	令和元年7月31日、8月5日、6日、7日、9日、13日に当館及び大学において、当館学芸員が講師となり授業を実施。	大学生及び大学周辺の方一般の方に対し広く盆栽文化を学ぶ機会を提供することができた。		未定。																
18	スポーツ文化局	オリンピック・パラリンピック部	東京2020ボランティア推進事業	市内の既存の関係団体で構成するボランティア連絡協議会を通じて、本市の所掌するボランティアの準備を進めるとともに、市民の大会時のボランティア参加に対する関心や意欲の向上を図る。	平成29年度	大学コンソーシアムさいたまの幹事大学に委員として参画してもらい、東京2020大会のボランティアに関する情報を各大学に周知した。	近隣大学への東京2020大会時のボランティア情報の周知につながった。		来年度も引き続き、大学コンソーシアムさいたまの幹事大学の方に参画いただく予定。																

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先																	備考
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名				
19	保健福祉局	健康増進課	さいたま市健康マイレージ	通信機能付き活動量計又はスマートフォンアプリを利用して、歩数や各種健康(検)診の受診に応じてポイントが付与され、付与されたポイントに応じた景品の抽選応募や各種ポイントに交換ができる事業	平成28年度	コンソーシアム加盟各校にポスターを送付、設置依頼した。	若い世代に健康づくり事業の周知を行うことができた。	https://www.city.saitama.jp/002/001/005/p048099.html	ポスターの送付を含め事業連携を行う予定。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
20	保健福祉局	健康増進課	九都県市受動喫煙防止対策共同キャンペーン	九都県市で、受動喫煙による健康への悪影響に関する正しい知識や、公共施設における受動喫煙防止の適切な取組を推進するため、共同でキャンペーンを実施している。	令和元年度	大学生に一定数喫煙者がいることから、校内での啓発ポスター掲示を依頼した。	大学生等に受動喫煙への意識啓発を図ることができた。	例年9月～11月のキャンペーン期間のみHPに記事を掲載	継続して実施する予定。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
21	保健福祉局	健康増進課	さいたま健康ネットワーク	従業員の健康づくりについて組織的・戦略的に取り組む「健康経営」について、取り組む意思のある企業・団体を集め、セミナー、取組に関する情報共有、情報交換等を通じて健康経営を推進するもの。	平成29年度	ネットワーク主催セミナーへの参加。校内における「スマートウェルネスさいたまNEWS」の周知啓発。	本市の健康づくり事業について、行政の届きにくい学生たちにも周知啓発ができた。	https://www.city.saitama.jp/006/007/002/026/02/20180322.html	引き続きセミナーでの連携や周知啓発を行うとともに、その他産学連携を目指していく予定。	○													令和元年度から都市経営戦略部より事務移管				
22	保健福祉局	健康増進課	食育を实践しようプロジェクト	第3次さいたま市食育推進計画に基づき、食育活動の企画・実践を行う人材を育成し、ライフステージの各段階に応じた食育の普及啓発を図る。	平成25年度	大学新入生を対象とした食育活動の実践。参加学生の募集(チラシの配布・設置)。参加申込み受付。会場(大学の教室)の確保。	食育活動の実践の場を提供していただけた。参加申込み受付の事務処理を低減できた。会場を大学の教室としたことで、学生が参加しやすくなった。	さいたま市食育ナビ http://genki365.net/gnks14/mypage/index.php?gid=G0000001	引き続き連携予定。より効果的な食育活動が展開できるよう、大学と相談しながら取り組む。												○						

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先														備考			
										埼玉大	埼玉県立大	浦和大	共栄大	慶應義塾大	芝浦工業大	聖学院大	日本大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院埼玉短期大	その他	大学名				
23	保健福祉局	障害者更生相談センター	高次脳機能障害当事者グループ「はじめの一歩」	成人期の高次脳機能障害の当事者が、自分の強みと弱みを理解し、社会参加に向けた第一歩となることを目的に、当事者グループを月に2回の頻度で全8回を1クールとして、2クール実施している。	平成28年度	令和元年5月から8月までの前期クールでは、全8回全てに、埼玉県立大学の作業療法学科の准教授に参加いただき、グループ運営や個別ケースへの対応について助言をいただいた。また、同大学の学生にボランティアとして2回参加いただき、高次脳機能障害への理解を深めてもらった。	高次脳機能障害のケースへの個別対応やグループ運営について、有益な助言が得られ、事業内容や進行方法の改善につながった。		継続して実施する予定。																		
24	保健福祉局	疾病予防対策課	エイズ予防対策事業	若年層を対象としたエイズ予防普及啓発	平成20年度	学園祭・世界エイズデー・成人式等で学生と協働し、エイズ予防普及啓発を実施。	若年層のHIV検査受検者の増加・エイズ予防知識の普及につながった。		継続して実施する予定。																		浦和大学・人間総合科学大学・目白大学については学園祭のみの協力。
25	子ども未来局	保育課	保育士スキルアップ事業	各園で取組んできた園内研修内容を発表する場において、大学教授等に助言をいただき、保育士のスキルアップを図る。	平成19年度	5件(園内研修発表の場となる、グループ別保育実践報告会、保育研究大会において、助言をいただいた)	助言者より方向性を示唆していただき、日常における保育を振り返るとともに、職員全体で共通理解を図りながら、保育の質の向上に取り組むことができる。		市内保育施設職員(公立、私立認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所、ナーサリー、家庭保育室職員等)が参加する研修であり、今後も保育施設職員として必要な知識・技術を習得できる場として、継続する予定。																		
26	環境局	環境創造政策課	さいたま市環境フォーラム	市民、事業者、学校、行政などが連携し、日頃の環境保全活動について展示や発表を行い、お互いの情報交換の場、多くの方の環境教育・学習の場を創出し、環境保全活動を促進する。	平成16年度	さいたま新都心駅東西自由通路で開催し、芝浦工業大学の学生が研究内容に関するパネル展示や、日頃の行動がSDGs達成に繋がっているかを可視化する「SDGs達成に向けた日常的な取り組みの実践度チェック」などを実施した。	大学、事業者、学校、行政など24団体が参加し、それぞれの立場で行っている様々な環境保全活動を展示・発表し、来場者に幅広く紹介することができた。		継続して実施する予定。																		

市と大学との連携事業調査表（令和元年度実績）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期（年度）	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先													備考				
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他		大学名			
31	経済局	農業政策課	農学商連携事業	学生による農作業体験（紅赤の栽培）および紅赤を使用したメニューの製造、販売	平成22年度	学生17名による農作業体験。さいたま市農業祭において、紅赤を使用したスイーツの製造、販売。	本市発祥のさつまいも（紅赤）のPRおよび農業の価値と魅力への理解が進んだ。		苗の提供や紅赤のPRの連携を通じ、学生による農作業体験や紅赤を使用したメニューの製造販売を支援していく予定。																		
32	経済局	産業展開推進課	さいたま医療ものづくりフォーラム	医療ものづくり都市構想のPRと産・学・官・医による医工連携コミュニティ形成を図るため、フォーラムを開催する。	平成24年度	地域理工系大学へ研究成果ポスターの掲示を依頼。また、大学病院の教授・医師へニーズ発表とポスター掲示を依頼。	臨床現場のニーズとものづくり企業とのマッチングにより、さいたま発医療機器の開発促進につながる。		医療ものづくり都市構想の改定に伴い、令和2年度の実施は見送り、以降改めて検討していく予定。																		日本医科大学、長崎大学
33	経済局	産業展開推進課	さいたま市研究開発人材高度化タスクフォース事業	企業と大学等研究機関、さいたま市産業創造財団の3者共同研究実施により、企業・大学間の人材高度化を実現する。	平成21年度	㈱東京理工舎×東京電機大学、氏一ベックシステム㈱×芝浦工業大学による共同研究を実施。（ほか、マレリ㈱×神奈川工科大学）	企業の社内人材育成、企業研究機関間のパイプ構築、学生のビジネスリテラシー向上、キャリア開発に貢献する。	https://www.cit.v.saitama.jp/005/002/019/011/p013370.html	引き続き産学連携推進事業として実施する予定。																		
34	経済局	産業展開推進課	「まちづくり」「ものづくり」を通じた人材育成推進事業	大学・自治体で連携した地域課題解決プロジェクトの推進により、芝浦工業大学の有する「知」の地域への還元を実現する。	平成25年度	「地（知）の拠点整備事業」の取組みの一環として、地域志向科目授業「産学・地域連携PBL」を通じ、さいたま市が提案した地域課題に対し提案を受けた。	地域課題の解決に向けたアイデア創出を通じて、市施策の検討の参考とするとともに、学生の実践的な技術者育成に貢献する。		引き続き産学連携推進事業として実施する予定。																		

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先													備考		
										埼玉大	埼玉県立大	浦和大	共栄大	慶應義塾大	芝浦工大	聖学院大	日本大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院埼玉短期大	その他		大学名	
35	経済局	産業展開推進課	高度ものづくり人材育成支援事業	製品化支援のためのプロトタイプング(試作開発)を実現する人材育成プログラムを大学の教員等によりカリキュラムを構築し、大学の施設を活用して市内企業の技術者に実施する。	平成26年度	セミナー形式及び実践的実習形式を組み合わせたカリキュラムによる試作開発に資するプログラムを実施した。	大学の専門的人材と装置・機器を活用することで、高度ものづくり人材を育成し、さいたま市内等企業の国際競争力を強化する。		引き続き産学連携推進事業として実施する予定。	○															
36	経済局	産業展開推進課	BIZ SAITAMAさいたま市産業交流展	成長性の高い産業分野をテーマとするオープンイノベーションのビジネスマッチングを開催し、品企業の新事業の展開及び成長を支援する。	平成27年度	BIZ SAITAMAにおいて、大学がもつ技術シーズ等を展示。	大学がもつ技術シーズを活用したオープンイノベーションが促進される。	https://www.cit.v.saitama.jp/005/002/005/p059765.html	今後も継続してBIZ SAITAMAさいたま市産業交流展を開催していく予定。	○													○	群馬大学	
37	経済局	観光国際課	さいたま市観光ガイドブック	日本の習慣を外国人に紹介するためのマンガを作成	令和元年度	さいたま市観光ガイドブック発行。	学生政策提案フォーラムにおける大学生の発案により、外国人に日本の習慣をマンガで紹介することで分かりやすいものを作成できた。	https://www.cit.v.saitama.jp/006/007/014/019/013/p071066.html	継続して配布。	○															
38	都市局	都市計画部交通政策課	さいたまカーフリーデー2019	平成19年度から、民・産・学・官の協働による実行委員会を組織し「自動車に過度に依存しない交通体系の実現」に向け、「車の使い方」を市民と行政が一緒に考えるための周知啓発と、快適で賑わいのある歩行空間を創出するため、PRイベントやノーマイカーデーを実施する。	平成19年度	車両通行止めすることで周辺道路の交通量に与える影響について調査した。PRイベント時に交通まちづくり取組紹介ブースの出店で参画。	イベント開催目的の一つである、快適で賑わいのある歩行空間を創出するための基礎データを収集した。イベント来訪者の意識醸成に寄与した。		引き続き大学と連携しPRイベントを実施する予定。	○															

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先														備考				
										埼玉大	埼玉県立大	浦和大	共栄大	慶應義塾大	芝浦工業大	聖学院大	日本大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院埼玉短期大	その他	大学名					
39	都市局	自転車まちづくり推進課	シェアサイクル普及事業実証実験	新たな都市交通システムとしてのシェアサイクルの普及について、民間事業者と連携して実施することの有効性、課題を検証する。	令和元年度	実証実験に産学官連携として参画し、大学敷地内にシェアサイクルポートを設置するとともに、大学院授業(システム工学特別演習、クロスイノベーションプロジェクト)において、シェアサイクルに関する技術提案などを行った。	学校施設へのシェアサイクルポートの設置に関する有効性や課題などの検証を行うための環境を整えることができた。また、学生による技術提案を通して、シェアサイクルの利便性向上への参考となった。		実証実験は令和3年度末までとなっているため、来年度も継続的に実施する予定。																			
40	都市局	浦和東部まちづくり事務所	みその都市デザインスタジオ	美園地区を対象とし、大学生・大学院生が地域の課題解決等に向け、都市デザインの実践的演習を行う。また市民・企業・大学・行政等のコミュニケーション機会の創出を通じて、まちづくりへの関心を高めることを目的とする。	平成27年度	令和元年10月～令和2年1月 都市デザインスタジオ2019冬(埼玉大学) 「スポーツ×健康のまちを体現するウォークابل・バイカブルな都市環境デザイン」を開催	市民・企業・大学・行政等が同じテーブルで議論し、固定概念に捉われない学生の新たな視点や考え方を共有し、まちづくりに対する発想の転換が図られた。	https://www.misono-tm.org/udcmi/projects/67.html	今後も引き続き、美園地区のまちづくりに関する多様な議論を繰り広げ、市民・企業・大学・行政等の関心を高めていく予定。																			
41	都市局	与野まちづくり事務所	本町通り交通社会実験	本町通りにおいて、安心して歩ける歩行空間の形成に向けた取組として、交通社会実験を実施する。社会実験の効果検証を行い、今後の総合的まちづくりに反映させる。	令和元年度	社会実験の効果・検証として、市が行うアンケート調査とは別に、埼玉大学の研究の一環として、定性的調査を行った。	市が行う調査と大学が行う調査を連携して行うことにより、多面的に社会実験の効果検証が出来る。	https://www.city.saitama.jp/01/01/0/015/006/p065934.htm	効果検証後においても、今後のまちづくりに関して連携していく予定。																			
42	見沼区役所	コミュニティ課	第17回見沼区ふれあいフェア	区民意識の醸成と地域住民の連帯を図るため、見沼区ふれあいフェアを開催する。	平成29年度	第17回見沼区ふれあいフェアへの参加を呼びかけ、ステージ部門に出演した。	学生に発表の場を提供し、地域との交流やふれあいの機会となった。また、来場者も地元大学に親しみを持てた。	https://www.city.saitama.jp/minuma/001/001/008/p068781.html	来年度も呼びかける予定。																			

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先																備考
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名			
47	桜区役所	コミュニティ課	桜区市民活動ネットワーク登録団体への支援	桜区に拠点を置き活動する市民団体を登録し、ゆるやかなつながり(ネットワーク)を構築するとともに、団体の事業周知、区役所内一部施設の貸出や補助金の交付等の支援を行う。	平成23年度	地域とも連携し活動している、埼玉大学イルミネーションプロジェクト実行委員会とむつめ祭常任委員会の2団体が、桜区市民活動ネットワークへ登録しており、区報等へのイベント記事掲載などを行った。	市民活動ネットワーク登録団体間の交流や区民会議委員との交流会等を通して、区役所との交流や連携が深められた。また、これらを機に地域のお祭りや他の登録団体主催事業への参加など交流が広がり、地域活性化を図ることができた。	https://www.city.saitama.jp/saitama.jp/sakura/001/002/008/network.html	引き続き桜区市民活動ネットワークを通して、連携並びに支援を継続する予定。	○																
48	桜区役所	コミュニティ課	桜区サクラソウ写真コンクール	「桜区の花サクラソウ」を広く周知し、親しんでもらうことを目的とし、サクラソウ写真コンクールを開催。	平成24年度	桜区サクラソウ写真コンクール審査委員として、応募作品の審査・講評をいただいた。また、入賞作品を同大学構内に展示し、「桜区の花サクラソウ」を広く周知し、親しんでもらうことができた。	サクラソウ写真コンクール審査や入賞作品の構内展示などを通して大学との連携を図り、「桜区の花サクラソウ」を広く周知し、親しんでもらうことができた。		引き続き連携をする予定。	○																
49	緑区役所	コミュニティ課	緑区区民まつり	区民が一体となってまちづくりを行い、ふれあいのある地域社会の育成を図るため、区と区民との協働により区民まつりを開催する	平成15年度	浦和大学に会場内の広場において子ども遊び指導を実施してもらった。	学生と区民との交流が促進された。		継続して実施する予定。				○													
50	緑区役所	コミュニティ課	区民フォーラムみどり	緑区の広聴機能のひとつとして、意見の交換を通じて各々が新たな気づきを得るとともに、それらの知見を区の行政の参考とすることを目的に、意見交換及び交流の場として区民フォーラムみどりを実施する	令和元年度	浦和大学の学生2名が参加した。	若い世代と意見交換することができた。	https://www.city.saitama.jp/midori/001/002/010/p069343.html	継続して実施する予定。				○													

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始 時期 (年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先											備考		
										埼玉大 学	埼玉県 立大学	浦和 大 学	共栄 大 学	慶應 義 塾大 学	芝浦 工 業大 学	聖学院 大 学	日本 大 学	人間 総 合科 学 大 学	放送 大 学	目白 大 学		国際 学 院 浦 玉 短 期 大 学	その他
51	岩槻区役所	コミュニ ティ課	区の花やまぶ き植栽講習会	岩槻区内の大学構内 などを中心に、やま ぶきの苗を植栽し、 更には未永く育てて いただけるようやま ぶきの植え方や育て 方を、実演を通して 講習会を開催する。	令和元年度	目白大学及び人間総合 科学大学との連携によ り、それぞれの大学敷 地内にやまぶきの苗を 植栽。講演及び植栽に は学生及び大学関係者 の方々にも参加してもら った。	岩槻区の花であるや まぶきを広く周知 し、区民や岩槻区を 訪れる方々に親しみ と愛着を持っていた ことができただけで した。		令和2年度は予定な し。令和3年度以降 未定。											○	○		
52	岩槻区	コミュニ ティ課	いわつきマル シェin目白大学	岩槻の「食」をテー マにした出店や、近 隣小中学生の出演を 行うイベント	平成27年度	出店団体の1つとして 目白大学が参加した。 また、準備段階から目 白大学の職員に実行委 員会の委員として参加 いただき、同日開催し た目白大学の学園祭の パンフレットでも当事 業の告知をした。	当事業が開催できた 場合、同日開催によ り相互の来場者増を 図ることができ、地 下鉄7号線中間駅周 辺の賑わい創出に寄 与することが期待で きる。また、学生の 地域参加の機会にす ることが期待でき る。		補助金交付が令和元 年度で終了となるた め、令和2年度以降 の実施は未定。												○		
53	岩槻区	コミュニ ティ課	城下町岩槻健 康ウォーキン グ～歴史散策 クイズ～	区内のウォーキング コースにチェックポ イントを設け、クイ ズを解きながら歩く ウォーキングイベン ト	平成27年度	ウォーキングの参加者 にストレッチ等の指導 を行う。	参加者へストレッチ 等の専門的な知識を 披露するほか、イベ ントの盛り上げへの 効果、また、学生の 地域参加や地域を知 る機会が増える。		継続して実施する予 定。												○		
54	岩槻区	コミュニ ティ課	岩槻区タウン カフェ	地域の特性を生かした 参加と協働による 区政を推進するた め、意見交換を行 う。(年2回)	令和元年度	市民活動団体や自治会 関係者などとともに、 目白大学、人間総合科 学大学及び東武医療技 術専門学校の職員1 名・学生4名に参加 いただき、「岩槻区誕生 15周年に区民が出来 ることは何か？」を テーマにアイデアを出 し合った。	学生の地域参加の機 会にすることが期待 できる。また、その ほかの参加者には学 生の意見を聞く貴重 な機会となる。		継続して実施する予 定。											○	○	○	東武医 療技術 専門学 校

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先														備考	
										埼玉大	埼玉県立大	浦和大	共栄大	慶應義塾大	芝浦工業大	聖学院大	日本大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院埼玉短期大	その他	大学名		
59	教育委員会事務局	総合教育相談室	適応指導教室運営事業	市内6か所の市立教育相談室に併設されている適応指導教室で、学生ボランティアの受け入れを行う。また、教育相談臨床実習生の受け入れを行う。	平成22年度	市内6か所の市立教育相談室に併設されている適応指導教室で、児童生徒に対する指導の充実を図るため、学生ボランティア4名を受け入れ、通室生への学習支援や活動の補助を行った。また、教員や心理職を目指す大学院生の教育相談臨床実習生9名を受け入れた。	学生ボランティアが学習支援や体験活動、コミュニケーション活動を通して、通室生にかかわることで、安定した通室や登校への意欲づけにもつながった。また、教員や心理師を目指す大学生及び大学院生を教育相談臨床実習生として受け入れることにより、臨床経験を深めることができた。		来年度も、学生ボランティア及び、教育相談臨床実習生の受け入れを引き続き行っていく予定。															文教大、東家政大、駒沢女子大	
60	教育委員会事務局	高校教育課	スーパーサイエンスハイスクール事業	世界の最先端技術や研究に触れさせ、幅広い進路選択、高度な科学技術分野で活躍する人材育成のため、大宮北高等学校の理数科及び普通科の希望する生徒を対象にした、大学の教授による「大学基礎講座」を実施する。	平成26年度	埼玉大学、芝浦工業大学、東洋大学の教授による「大学基礎講座」を9講座実施した。生徒は、様々な分野の専門家であり、研究者である大学の先生から課題研究に必要な基礎知識や実験方法についてアドバイスを受けた。	生徒の更なる最先端科学への関心、意欲の向上及び英語のプレゼンテーション能力の向上が図られた。また、学んだ内容を基に地域の小中学生へのアウトリーチ活動を実施したことで、小中高大をつなぐ理数教育の拠点校として役割を果たすことができた。		今後も本事業を継続していく予定。															横浜市立大、早稲田大、東洋大、東京農工大	
61	教育委員会事務局	健康教育課	学校フィールド・スタディ	埼玉大学教育学部養護教諭養成課程の学生による、学校現場における健康診断や日常の養護実践、学校保健委員会等の保健組織活動についての見学及び補助を受け入れる。(受け入れが可能な中央区の小・中学校)	平成21年度	中央区の小中学校6校、中学校3校において、15名の学生を受け入れた。大学において事前指導を行った。	養護教諭を目指す学生が、学校現場における健康診断や日常の養護実践、学校保健委員会等の保健組織活動について理解を深め、将来に向けた養護教諭としての実践力を養うことができた。		継続して実施する予定。																

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先														備考		
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名			
62	教育委員会事務局	教育研究所	研修事業・教職員研修	「『未来を拓くさいたま教育』を支える教職員研修の充実」を基本方針に、「さいたま市教員等資質向上指標」を踏まえ、教職員のキャリアアップに資する研修会の一層の充実に努める。	平成14年度	埼玉大学をはじめとする大学教授等16名を研修会の講師として招聘した。	大学教授等による最新の理論や指導方法等を提供することで、受講者の指導力の向上に役立てることができた。	http://www.saitama-city.ed.jp/01ken-svu/020ichiran.html	継続して実施する予定。	○														前橋工科大学 明治大学 東京学芸大学 東京造形大学 上野学園大学 星槎大学院 上越教育大学 筑波大学 日本体育大学 開智国際大学 東京家政大学		
63	教育委員会事務局	教育研究所	研修事業・「教師力」パワーアップ講座	平日の夜間に開催する教員の自主的・自発的な研修会。若手教員や教職を目指す学生をはじめとする市内の教職員などを対象に、「教師力」のさらなる向上、とりわけ授業力の向上を図る。	平成17年度	毎月、講座の予定一覧を送付した。令和2年1月29日時点で、延べ360名の学生の参加があった。	実践的な指導方法について学ぶことができ、現職教員との関わり合いの中で、自身の教育観を磨き上げることができる。また、大学の垣根を越えた学生同士のつながりも作ることができた。	http://www.saitama-city.ed.jp/90power/050power.html	継続して実施する予定。	○	○	○	○									○	○	文教大学	教職を志す学生であれば参加可能	
64	教育委員会事務局	教育研究所	研修事業・授業の達人大公開	さいたま市学校教育の一層の充実を図るため、優れた指導方法の伝承と共有化及び活用を促進するとともに、優秀教職員表彰者の足跡や人間性に触れ、教職員の資質向上を図る。	平成21年度	実施要領を送付し、参加を呼び掛けた。埼玉大学をはじめとする20名が参加した。	優れた指導方法を持つ教員の授業を参観し、協議会への参加をすることで、授業づくりに関するノウハウや研究協議の方法について学ぶことができた。	http://www.saitama-city.ed.jp/01ken-svu/020ichiran.html#tatsuiin	継続して実施する予定。	○	○	○	○										○	○	文教大学	

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先																		備考
										埼玉大	埼玉県立大	浦和大	共栄大	慶應義塾大	芝浦工大	聖学院大	日本大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院埼玉短期大	その他	大学名					
69	教育委員会事務局	文化財保護課	「田島ケ原サクラソウ自生地」植生管理指導	国指定特別天然記念物「田島ケ原サクラソウ自生地」の植生を適切に管理するため、学識経験者から必要な指導・助言を得る。	平成27年度	田島ケ原サクラソウ自生地の植生管理状況を把握するための現地調査等を行い、指導・助言を得た。	指導・助言をもとに、今後の適切な植生管理方法を検討することができた。		継続して実施する予定。	○																		
70	教育委員会事務局	文化財保護課	ボランティア団体「田島ケ原サクラソウ自生地を守る会」研修会	国指定特別天然記念物「田島ケ原サクラソウ自生地」の普及啓発活動を行っているボランティアの研鑽のため、講師を招き、研修会を開催する。	平成27年度	田島ケ原サクラソウ自生地の植生をテーマに、研修会を開催した。	研修で得た知識を自生地の普及啓発活動に活かし、活動の一層の充実を図ることができた。		継続して実施する予定。	○																		
71	教育委員会事務局	文化財保護課	「田島ケ原サクラソウ自生地」自然科学分析指導	国指定特別天然記念物「田島ケ原サクラソウ自生地」のサクラソウ減少対策を講じるために、減少原因を把握することを目的とする調査において、学識経験者から必要な指導・助言を得る。	令和元年度	田島ケ原サクラソウ自生地の土壌分析等について、指導・助言を得た。	指導・助言をもとに、分析内容、手法、分析結果等の検討することができた。		継続して実施する予定。	○																		
72	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	若田名誉館長杯ロボット大会	2人1組でチームを組み、キットをもとに製作したロボットで競技会を行う。	平成22年度	大会のスタッフとして、運営・審査に携わった(准教授1名、学生4名)。	専門的な立場からの講話やロボットの審査などにより、参加者のロボット製作や競技への意欲が高まった。		継続して実施する予定。	○																		

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先														備考			
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名				
77	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	高校生ロケット教室	5人1チームによる、モデルロケットの作成、打ち上げを行い、目標着地点に最も近いチームを競う。1日を通して、ロケットの仕組み、製作、試射、記録会までを行う。	令和元年度	講師として運営に携わった(学生3名)。	専門家の指導のもと、製作したロケットを実際に打ち上げる体験等を通して、生徒にもものづくりの楽しさ、自分たちが作ったものがしっかり機能したときの喜びを味わわせることができた。	http://www.ohmiyakita-n-h.ed.jp/news/5752/	継続して実施する予定。																	○	千葉工業大学
78	教育委員会事務局	うらわ美術館	創作コーナーボランティア	夏の企画展の関連事業として行っている自由工作室「創作コーナー」における制作補助等のボランティア活動。	平成28年度	教育学部美術講座の教授に事業内容を説明し、学生向けにボランティア募集のチラシを配布した。	今年度は連携先大学からのボランティア参加はなかったが、チラシを配布したことで教授や学生への事業周知につながった。	https://www.citysaitama.jp/ura-wa-art-museum/educational/	継続して実施する予定。	○																	
79	教育委員会事務局	生涯学習総合センター	さいたま市民大学(教養Iコース、教養IIコース、ビジネススキルコース、歴史コース、市民企画コース)	市民の方々の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるとともに、自発的な学習活動を促し、豊かな生涯学習社会を築くことを目的として、さいたま市民大学を開設する。	平成14年度	さいたま市民大学各コースについて、講師に大学准教授、教授等を招き講演を行った。	市民の方々の高度で専門的な学習要求に応じることができた。		市民の方々の高度で専門的な学習要求に応えるため、今後も継続して大学准教授、教授等の講師を招き講演を行う予定。	○														○		東京大学、東京歯科大学、明治大学、立教大学、立正大学、高千穂大学、大阪経済大学	
80	教育委員会事務局	資料サービス課	インターンシップ	大学において図書館司書課程を履修中の学生に対し、図書館業務の実習を行う。	平成20年度	実践女子大学(8月19日~30日)人数:1名	図書館の運営や公共サービスについての理解を深めてもらった。		継続して受入予定。																○	実践女子大学	

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先														備考	
										埼玉大	埼玉県立大	浦和大	共栄大	慶應義塾大	芝浦工業大	聖学院大	日本大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院埼玉短期大	その他	大学名		
81	教育委員会事務局	資料サービス課	資料の相互利用	「埼玉大学図書館及び埼玉県立大学情報センターと埼玉県内市町村立図書館等との資料相互貸借に関する協定」に基づき、埼玉大学及び埼玉県立大学情報センターと埼玉県内市町村立図書館等との間で、それぞれが所蔵する資料の貸借につき相互に協力することにより、各施設利用者の研究、教育及び学習に資することを目的とする。	平成21年度	令和元年度も、埼玉大学・県立大学からの借用、また貸出を行っている。	図書館の所蔵資料は館種によって異なるため、市図書館の利用者には大学の高度で専門的な資料を提供できるとともに、大学図書館利用者にも幅広い資料の提供が可能になる。		市民の研究や学習に資するため、さらに連携を深めていく予定。	○	○														
82	教育委員会事務局	北浦和図書館	インターンシップ	大学において図書館司書課程を履修中の学生に対し、図書館業務の実習を行う。	平成24年度	筑波大学 期間：9月11日(水)～9月27日(金) 人数：1名	図書館の運営や公共サービスについての理解を深めてもらえた。		継続して受け入れ予定。													○	筑波大学		
83	教育委員会事務局	東浦和図書館	埼玉学園大学絵本サークルおはなし会	准教授が指導する絵本サークルの学生によるおはなし会開催	令和元年度	8月21日に乳児向けおはなし会、幼児小学生向けおはなし会を、それぞれ1回ずつ、合計2回開催した。	保育士や小学校教諭を目指す学生が、准教授の指導のもと習得した読み聞かせ等の技術を子どもの前で披露することができた。また、夏休み期間中に新たな図書館イベントを開催することができた。		未定。													○	埼玉学園大学		
84	教育委員会事務局	大宮西部図書館	インターンシップ	大学において図書館司書課程を履修中の学生に対し、図書館業務の実習を行う。	令和元年度	昭和音楽大学 期間：9月30日(月)～10月4日(金) 人数：1名	図書館の運営や公共サービスについての理解を深めてもらえた。		令和2年度は受け入れ予定なし。令和3年度以降は未定。													○	昭和音楽大学		

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先															備考
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名		
85	教育委員会事務局	桜図書館	埼玉大学生による「食育おはなし会」	絵本の読み聞かせや紹介を交えながら、埼玉大学生が食べものや食べることについて解説する。	平成27年度	7月27日に「やさい」をテーマに実施した。	大学の専門性を生かしたおはなし会が実施できた。		継続して実施する予定。	○															
86	教育委員会事務局	生涯学習総合センター	さいたま市民大学(教養Iコース、教養IIコース、ビジネススキルコース、歴史コース、市民企画コース)	市民の方々の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるとともに、自発的な学習活動を促し、豊かな生涯学習社会を築くことを目的として、さいたま市民大学を開設する。	平成14年度	さいたま市民大学各コースについて、講師に大学准教授、教授等を招き講演を行った。	市民の方々の高度で専門的な学習要求に応じることができた。		市民の方々の高度で専門的な学習要求に応えるため、今後も継続して大学准教授、教授等の講師を招き講演を行う予定。	○											○		東京大学、東大、京大、医大、歯科大、明治大学、立教大学、立正大学、高千穂大学、大阪経済大学		
87	教育委員会事務局	大砂土公民館(日進公民館)	青少年・若者事業「子育て関連事業におけるボランティア活用」	公民館で実施する子育て関連事業に、事業ボランティアとして聖学院大学の学生を活用する。	平成30年度	大宮西部図書館との連携事業「絵本の読み聞かせ」に、講師補助として、聖学院大学生を活用する。	図書館職員と大学生の交流により、大学生は学びの場を得ることができた。また、受講者からは、大学生の参加について好評を得た。		本講座は、子どもの情緒を育み、子育て中の方から継続を希望する声がある。今後も継続して図書館・大学生との連携を継続して実施する予定。																
88	教育委員会事務局	鈴谷公民館(下落合公民館)	夏休み子ども公民館「ロボット工作教室」	小学生を対象に、大学生のマンツーマン指導により、リモコンで動くロボットを作成する講座を実施する。	平成23年度	小学生を対象にした工作教室を開いている、芝浦工業大学の部活動「ロボット遊交部からくり」に講師を依頼した。	大学生のマンツーマン指導により、参加した小学生にわかりやすく電気工作を教えることができ、又、大学生と交流する機会を提供することで、小学生の社会性を育むことができた。		令和2年度も引き続き実施する予定。																

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期(年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先													備考									
										埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	共栄大学	慶応義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他		大学名								
89	教育委員会事務局	鈴谷公民館(与野本町公民館)	介護予防事業「懐かしい歌をみんなで楽しもう」	高齢者を対象に「懐かしい歌」を歌う講座を実施する。	平成29年度	埼玉大学の三橋さゆり准教授に講師を依頼した。	地域の高齢者のみなさんに、本格的な歌唱指導を受ける機会を提供できた。		令和2年度も引き続き実施する予定。	○																						
90	教育委員会事務局	鈴谷公民館	一般講座「合唱講座」	合唱の楽しさを体験する。	平成27年度	埼玉大学の三橋さゆり准教授に講師を依頼した。	発声法から高音部・低音部に分かれての本格的な合唱を学ぶ機会を提供できた。		令和2年度も引き続き実施する予定。	○																						
91	教育委員会事務局	田島公民館(土合公民館)	ふれあいコンサート	地域住民及び地域の小・中・高校生に質の高い音楽を提供する。	平成22年度	大学生を含めた実行委員会により企画・運営。学生たちには出演者の一部としてステージを任せ、また前日の会場設営等、様々な形で協力してもらい、公民館と大学との連携を図った。(令和2年1月25日(金)実施)	実行委員会形式による10回目の開催となる。来場者も増え、地域に密着したコンサートとなっている。		単独で行っていたコンサートを令和2度から文化祭で行うことを検討中。文化祭で行う場合は、実行委員会を見直し、企画・運営・出演者等実施方法について検討する予定。	○																						
92	教育委員会事務局	岸町公民館(大東公民館)	公民館介護予防事業/やまびこ学級	高齢者が要介護者になることを予防し、健康で充実した生活を送れるよう支援する。	平成30年度	講師に大学准教授を招き講座を行った。	大学での経験を生かした講義内容で、高齢者の介護予防に役立った。		参加者の要望等を考慮して検討する予定。				○																			

市と大学との連携事業調査表(令和元年度実績)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始 時期 (年度)	令和元年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	連携先													備考			
										埼玉大 学	埼玉県 立大学	浦和 大 学	共栄大 学	慶應義 塾大学	芝浦工 業大学	聖学院 大学	日本大 学	人間総 合科学 大学	放送大 学	目白大 学	国際学院 埼玉短期 大学	その他		大学名		
93	教育委員会 事務局	岸町公民館 (仲本公民 館)	介護予防事業/ 生きがい健康 づくり教室 「仲本塾・前 期」	健康、歴史、美術並 びに消費生活など幅 広い分野を学び、そ の知識を、身に着け 生活に役立てるとと もに、参加者の交流 を図り、仲間づくり を促し、もって介護 予防に資する。	平成29年 度	「仏教美術の親しみか た」をテーマに駒澤大 学教授を講師として招 いた。	参加者は、講師の話 しを理解し、楽しく 学べることができ、 参加者同士の交流も 深めることができ た。		令和2年度も継続予 定。															○	駒澤大 学	
94	教育委員会 事務局	岸町公民館 (仲本公民 館)	介護予防事業/ 生きがい健康 づくり教室 「仲本塾・中 期」	健康、歴史、美術並 びに消費生活など幅 広い分野を学び、そ の知識を、身に着け 生活に役立てるとと もに、参加者の交流 を図り、仲間づくり を促し、もって介護 予防に資する。	平成28年 度	「万葉集を読む」を テーマにフェリス女学 院大学講師を講師とし て招いた。	参加者は、講師の話 しを理解し、楽しく 学べることができ、 参加者同士の交流も 深めることができ た。		令和2年度も継続予 定。																○	フェリ ス女学 院大学
95	教育委員会 事務局	岸町公民館 (仲町公民 館)	夏休みチャレ ンジ教室/落 語教室	学生落語サークルに よる小学生を対象と した落語教室。	令和元 年度	学生落語サークルに よる小学生を対象とし た落語教室を実施した。	若手の講師の指導で 小学生が落語を身近 に感じる事が出来 た。		令和2年度も継続予 定。																○	
96	教育委員会 事務局	大古里公民 館(三室公 民館)	公民館介護予 防事業/み むる学級	みむる学級(前期) 7回シリーズの中の 1つの講座(落語) として実施するもの である。	令和元 年度	参加者42名	高齢者が若い嘶家の 斬新な落語を楽しむ ことにより、異世代 間交流が図られた。 若い落語愛好家には 発表の場を与えるこ とにより、モチベー ションの向上が図ら れ、高齢者には新鮮 な刺激を与え、楽し いひと時を提供する ことが出来た。		機会があれば再度依 頼したい。																○	

